



港南中便り

第4号

学校公式ホームページ <https://konan-j.esnet.ed.jp/>

青春を止めるな！！ — ブロック活動始動 —

6月10日(水)にブロック抽選会を行い、今年のブロックを決定しました。決定したブロックの3年生からブロック長、副ブロック長、応援団長、副団長を選出しました。そして、6月30日(火)にブロック結団式を実施し、令和2年度のブロック活動が始動しました。

	飛龍ブロック (青)	荒鷲ブロック (赤)	猛虎ブロック (黄)
所属学級	3-1 2-2 1-1 3-5 2-6 1-3	3-2 2-3 1-4 3-4 2-5 1-6	3-3 2-1 1-2 2-4 1-5
ブロック長	3-1 S	3-2 N	3-3 S
副ブロック長	3-5 F	3-2 T	3-3 W
応援団長	3-5 K	3-4 M	3-3 K
副団長	3-5 Y	3-4 K	3-3 H

飛龍ブロック

< ブロック長 > 3-1 S

充実した素晴らしい飛龍ブロックの活動になるように、そして、港南中がより発展していくように、ブロック長として全力で取り組みます。そのためにまず、私がお手本となるように行動します。周囲の人に良い影響を与えられるようにまず私が実行していきます。例えば、誰よりも明るく気持ちの良い挨拶をします。港南中のみんなが、挨拶など当たり前のことを当たり前にできるようになればいいなど、願っています。

みなさん！充実したブロック活動と良い港南中を作り上げるため、一緒に頑張りましょう！

< 応援団長 > 3-5 K

僕は、1, 2年生の時、同じ部活動の先輩方が、運動会や応援合戦のリーダーをしている姿を見て、自分もその先輩方の背中を追いかけたいと思い、立候補しました。飛龍ブロックを盛り上げ、素晴らしい運動会と応援にするため、精一杯、声と力を出し、僕の力の全てを注ぎたいと思います。また、勝ち負けも大事ですが、それ以上に飛龍ブロックのみんなに「楽しかった」、「飛龍ブロックで良かった」と思えるような心に残る応援合戦にしたいと思っています。

みなさん、僕と一緒に最高の思い出を作りましょう。

荒鷲ブロック

< ブロック長 > 3-2 N

私は、荒鷲ブロックみんなが活動を楽しみ、ブロック活動が終わった後、「荒鷲ブロックで良かった」と思えるように、持ち前の明るさでブロックを引っ張っていきます。今年は、臨時休業が長引き、学校生活を送る時間が短くなってしまいました。その分を少しでも取り戻せるよう、ブロック活動でお互いの絆を深めていきたいです。だから、ブロック長として力の限りの努力をして、活動を盛り上げていきます。

荒鷲ブロックのみなさん！運動会ではトリプル優勝を目指し、共に頑張っていきましょう。

< 応援団長 > 3-4 M

持ち前の声の大きさとポジティブ思考、そして、笑顔を活かして、荒鷲ブロックの応援合戦を引っ張っていきます。みんなのニコニコした笑顔があふれる荒鷲ブロックの応援を目指します。そのためには、ブロックみんなの力が必要です。みんなの力を貸してください。お願いします。

みなさん、「1に笑顔、2に笑顔、3、4も笑顔で、掴め！優勝」を合言葉に頑張っていきましょう。

猛虎ブロック

< ブロック長 > 3-3 S

私の武器の笑顔を活かして猛虎ブロックを引っ張っていきたいと思います。そして、みんなの力を借りて、どのブロックよりも明るく、笑顔のあふれる活動を目指します。私は、普段から、何事にも挑戦し、楽しく活動していくことが大事だと思っています。なので、このブロック活動でも「集中するときは集中」、「楽しむときは楽しむ」を実践していきます。そして、みんなの力を結集していこうと思います。

全校のみなさん、港南中の良い伝統を更に発展させるよう、共に頑張っていきましょう。

< 応援団長 > 3-3 K

応援団長として大きな声はもちろん、猛虎ブロックみんなを巻き込んで今までで一番心に残る応援にします。中学校最後の運動会で応援団長という素敵な役割をいただくことができました。だから、これを機会に新しい自分になりたいと思っています。いつもはリーダーや先生、周りに合わせて動いていただけでしたが、今度は私が先頭を切り、みんなを引っ張り、本気で楽しめるように精一杯、頑張ります。また、普段から大きな声でしっかりと挨拶をして後輩のお手本になるように心掛けます。

港南中全体で最高の運動会、応援合戦を創り上げましょう！！



新型コロナウイルス感染症対策のため、臨時休業が長引き、さらに、新しい生活様式での学校生活のため、生徒の活動にも様々な制約があります。しかし、生徒たちは、「**青春を止めるな**」という生徒会のスローガンの下、先輩が築いてきたブロック活動や応援合戦を新型コロナウイルス感染症に負けず引き継ぎ、より高みへ駆け上がろうと奮闘し始めました。そんな生徒たちを応援したいものです。